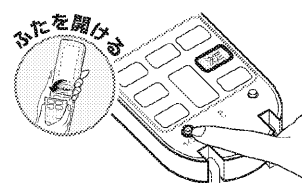
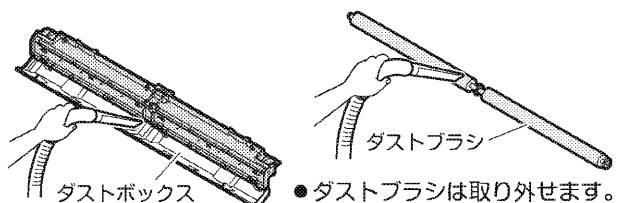
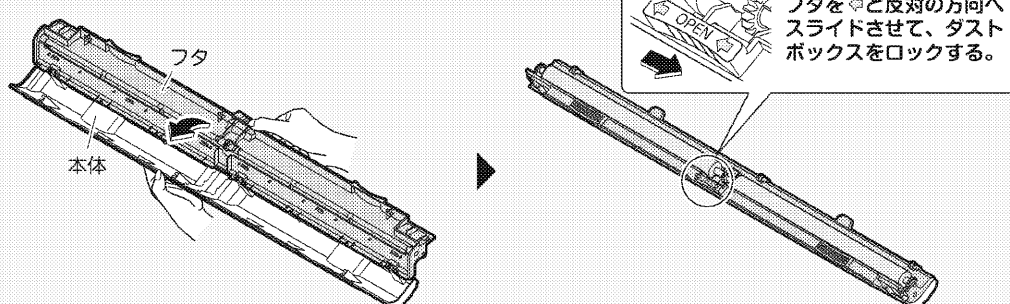
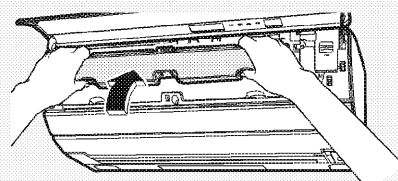
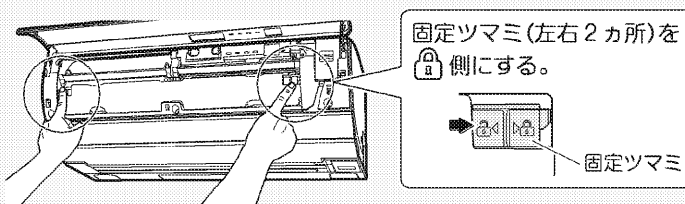
●ダストブラシは取り外せます。

お手入れ終了後 ダストボックス おそうじサインリセット

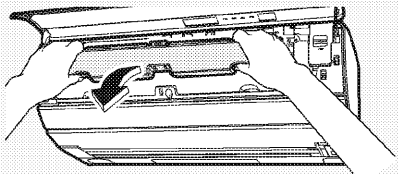
お手入れ後、電源プラグを差し込むかブレーカーを入れ、運転しない状態で

サインリセット を押して 決定 を押す。 ▶9ページ

● ダストボックスおそうじサインが消灯します。

ダストボックスの取付け

1 ダストボックスを閉じる。

2 ダストブラシが奥側になるように、ダストボックスを両手で持ち、本体に押し込んで取り付ける。

3 左右の固定ツマミを 🔒 側にする。

確実に固定されていないと正常にフィルター掃除運転を行いません。

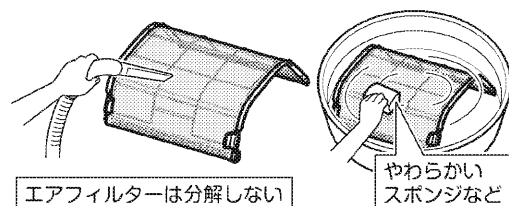
はじめに / 基本の使いかた / 便利な機能 / お手入れ / 困ったとき

お手入れのしかた

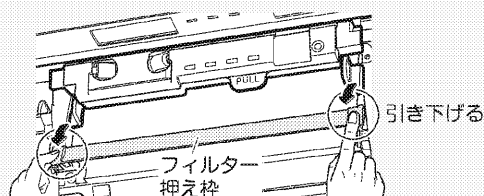
前面パネルを開け、ダストボックスを外す。

エアフィルター（白色）

フィルター自動掃除「入」でご使用いただく場合は、基本的にお手入れ不要です。▶29ページ
エアフィルターに油汚れやタバコのヤニが付着している、フィルター自動掃除「切」にしている場合など、汚れが気になるときお手入れしてください。

汚れが気になるときに **掃除機** または **水洗い**

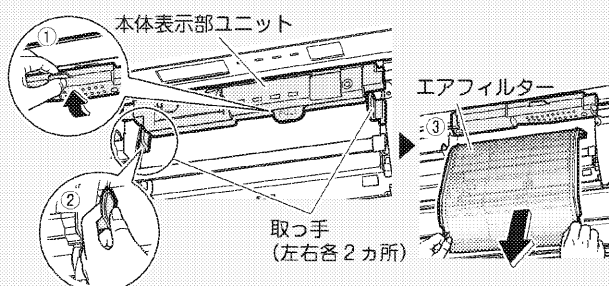
- 掃除機でホコリを吸い取る。
- 汚れがひどいときは、液体中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗う。
- 水洗い後は、軽く水切りする。
- たるみやシワをのばし、日陰でよく乾かす。

エアフィルターの取外し

1 フィルター押え枠（黄色）を引き下げる。

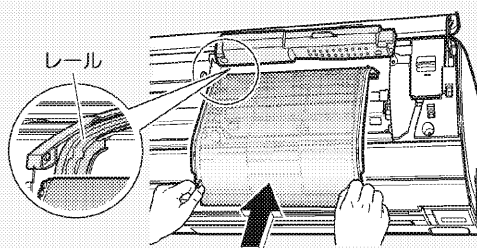
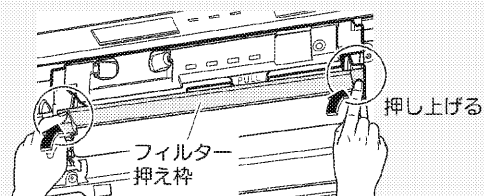
- フィルター押え枠（黄色）のツマミは左右各２ヵ所にあります。

2 エアフィルターを引き出す。

①本体表示部ユニットのPULL部（黒色）を持ち、上向きにする。

②エアフィルターの取っ手（青色）を手前に持ち上げる。

③そのまま下方向へ引き出す。

エアフィルターの取付け

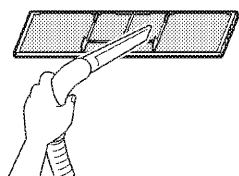
1 取っ手（青色）を持ち、レールに沿って差し込む。

- 取り付けた後は、本体表示部ユニット（黒色）を下向きにしてください。

2 フィルター押え枠（黄色）を「カチッ」と音がするまで押し上げる。

確実にロックされていないと前面パネルが破損するおそれがあります。

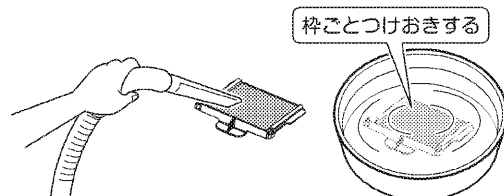
光触媒集塵・脱臭フィルター（黒色）

汚れが気になるときに 掃除機

● 掃除機でホコリを吸い取る。

水洗いすると使用できなくなります。

給気フィルター（黒色）

汚れが気になるときに 掃除機 または つけおき

● 掃除機でホコリを吸い取り、汚れがひどいときは、ぬるま湯または水で10～15分つけおき洗いをする。

お願い

● フィルターはこすり洗いしないでください。
● つけおき後は、軽く水切りをし、日陰でよく乾かしてください。

光触媒集塵・脱臭フィルターの取外し

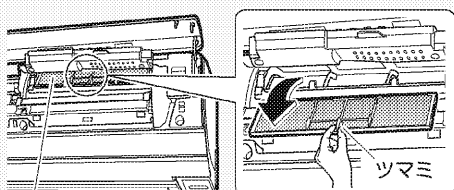
1 右側のエアフィルターを外す。

2 ツマミを持ち上げて、ツメから取り外す。

光触媒集塵・脱臭フィルターの取付け

ツマミを持ち、光触媒集塵・脱臭フィルターをもとどおり取り付ける。

● 光触媒集塵・脱臭フィルターを本体のツメに引っかけてください。

正しく取り付けられていないとフィルター掃除運転が正常に行えません。

給気フィルターの取外し

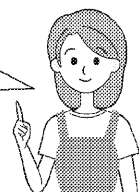
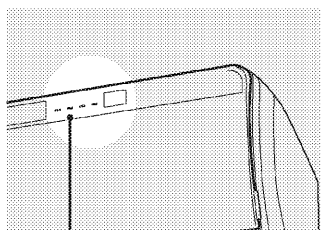
1 左側のエアフィルターを外す。

2 フィルター押え枠を上げて、ツマミを持ち、手前へ引き出す。

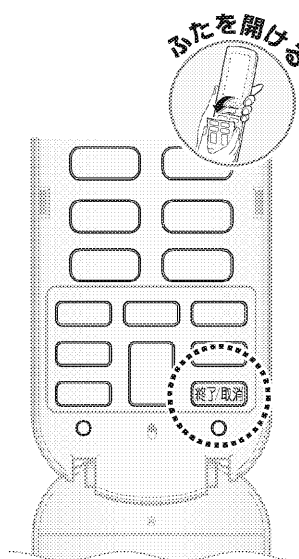
給気フィルターの取付け

給気フィルターをもとどおり取り付ける。

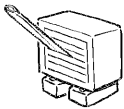
● 「▲」を上側に向けて「カチッ」と音がするまで差し込む。

お手入れ後は、エアフィルターが正しく動作することを確認するため、フィルター掃除運転を行ってください。 ▶29ページ

運転ランプが点滅するとき

運転ランプ(緑色)

タイマーランプ(橙色)が点滅するとき ▶35ページ
内部クリーン・おそうじランプ(緑色)が点滅するとき ▶36, 37ページ

運転ランプが点滅するときは、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切り、約1分後、もう一度電源を入れて運転してください。

それでも運転ランプが点滅するときは、以下の手順にしたがってエラーコードを確認し、対応を行ってください。

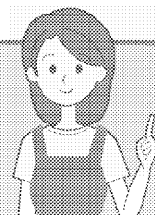
エラーコードを確認する

1 リモコンを室内ユニットに向けて 終了/取消 を約5秒間押す。

- リモコン表示部にエラーコードが表示されます。

(表示例)

2 エラーコードを確認し、表の操作と対応を行ってください。

エラーコードと確認内容	操作と対応
A5 エアフィルターが汚れていませんか?	運転を停止し、フィルター掃除運転してください。 ▶29ページ その後、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切り、もう一度電源を入れて運転してください。
E7 室外ユニットに 異物が入っていませんか?	電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってから、異物を取り除き、もう一度電源を入れて運転してください。
F3, F6, L3, L4, L5 車などで室外ユニットの吹出口をふさいでいませんか?	電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってから、障害物を取り除き、もう一度電源を入れて運転してください。
上記以外のエラーコードの場合	—

運転ランプが点灯。しばらく運転して運転ランプが点滅しないときは、そのまま使用してください。

再度、運転ランプが点滅した場合。

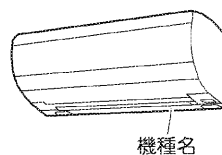
エラーコードが表示されている画面で

終了/取消 をもう一度押す。

(表示例)

●リモコン表示部に４ケタの管理コードが表示されます。
管理コード…機種名が室内ユニットで確認できない場合、
この管理コードを機種名の代わりにご連絡ください。

下記の内容をお買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容
1．品　名　ルームエアコン
2．機種名　室内ユニット参照
3．お買い上げ年・月・日
4．エラーコード・管理コード
5．お名前・ご住所・電話番号
6．室外ユニットの設置場所

下記のエラーコードの場合は、加湿ユニットや一部のセンサーの異常です。冷房、暖房運転のみ使用できますが、お早めにお買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

PH, PA, P9, CC, CA, U7

お知らせ

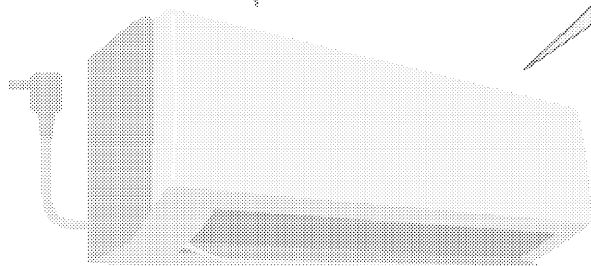
● 運転ランプが点滅していないときに 終了/取消 を約５秒間押すと「00正常」と表示されます。
● その他動作が気になる場合 42～48ページ

よくあるご質問

運転を停止しても運転し続ける

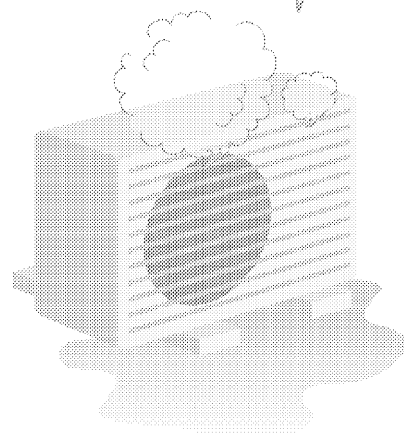
- フィルター掃除運転、または内部クリーン運転をしているためです。 ▶28, 29ページ
- 24時間換気運転「入」の場合は、運転を停止していても換気運転を続けるためです。 ▶33ページ

運転音が大きい

- 加湿暖房運転時は、加湿ユニットが動作するため室内の運転音はやや大きくなります。
  また、風量を強くすると加湿する音も大きくなります。
- 換気運転時は、屋外の新鮮な空気を取り入れるため、屋外の音が響いたりすることがあります。
  また、運転音もやや大きくなります。 ▶31ページ

室外ユニットから水や湯気が出る（霜取り運転）

- 屋外温度が低いときに暖房運転すると、室外熱交換器に付着した霜を取り除く運転を行うことがあります。このとき、溶け出した霜が水や湯気となって出るためです。

冷えない・暖まらない

- お部屋の温度が設定温度に近づくと能力を抑えて運転するためです。
  お好みに合わないときは設定温度を変えてください。
- 室内ユニットの真下や横に家具があると、センサーが設定温度に近づいたと誤認識することがあります。
  大きな家具など室内ユニットに近づけ過ぎないようにしてください。
- 屋外温度が低いときに暖房運転すると、室外熱交換器に付着した霜を取り除く運転を行うことがあります。（霜取り運転）
  霜取り運転が終わると自動的に暖房運転を再開しますので、約３～10分間お待ちください。
- パワーセレクト「入」のとき、能力を抑えた運転をします。
  お好みに合わない場合は「切」にしてください。 ▶23ページ

運転中に停電になったら

通電後、リモコンを操作して運転を再開してください。

雷が鳴り始めたら

落雷のおそれがあるときは、運転を停止し、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってください。

長期間使用しないとき

①晴れた日に内部クリーン運転をして、内部をよく乾燥させる。
（内部クリーン運転のしかた ▶28ページ）
②運転停止後、電源プラグを抜くか、エアコン専用のブレーカーを切る。
③リモコンの電池を取り出す。

- 再び使用する場合は、電源プラグを差し込むか、ブレーカーを入れてください。
  各部の動作チェックを行います。